

「漢字の広場」「五年国語 教科書四十四ページ」

めあて絵の中の単語を使って、図書館の人になったつもりで、利用者に

本の場所や図書館の使い方などについて説明する文章を書こう。

学習の流れ

①左の絵を見て、図書館では、だれが何をしているか、どんなものがあるかイメージをもちましょう。

(教科書四十四ページにもなっています)

②1〜6までの区切られている場面ごとに、どんな文章ができるか考えましょう。

・一文に単語は二つ以上使って、文章をつくる。

・図書館の人が利用者に説明するような言葉づかいで書く。

・一つの場面で一文つくる。

※挑戦できる人は二文めも書いてみよう。同じ単語は何回でも使っていいです。

③書いた文章を読み返しましょう。

・漢字を正しく書くことができているか確認する。



ノート例

「漢字の広場」

めあて 絵の中の単語を使って、図書館の人になったつもりで、利用者に

本の場所や図書館の使い方などについて説明する文章を書こう。

(例文は書かなくてよい。思いつかない人は、うつしてもよい。)

場面1(例) : 公共図書館のけいじ板に、案内図や季節のイベントの

ポスターをはっています。

場面2 :

場面3 :

場面4 :

場面5 :

場面6 :